

平成31年産(30年播)麦生育情報 No.4 (H31.3.22)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター

(次回は4月上旬の予定)

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

1 気象経過と生育状況

① 気象の経過 (彦根气象台、平成20～29年の平均値との比較)

期間	要素	平均気温	日照時間	降水量
	2月	上旬	高い	やや少ない
中旬		高い	やや少ない	かなり少ない
下旬		高い	平年並	やや少ない
3月	上旬	高い	多い	平年並
	中旬	平年並	少ない	やや少ない

注) 平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5～1.0℃:やや高い(低い)、±1.0～2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)
 日照時間 <±5hr:平年並、±5～10hr:やや多い(少ない)、±10～15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)
 降水量 <±10mm:平年並、±10～20mm:やや多い(少ない)、±20～30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

② 生育状況

農業技術振興センター麦類作況調査では、11月5日播の「農林61号」、「ふくさやか」ともに、茎数は平年の9割に減少してきている。また、平年に比べ草丈は長く、葉齢は進んでいる(表1および後掲グラフ)。

表1 平成31年産(30年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター (近江八幡市安土町大中)

品種名	年次	2/14 調査			3/14 調査		
		茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉齢	茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉齢
農林61号	H31年産	702	33.1	6.5	650	48.7	8.2
	平年(参考)	730	19.2	5.7	726	29.4	7.3
ふくさやか	H31年産	654	29.3	6.7	598	48.6	8.4
	平年(参考)	668	17.9	5.9	672	29.1	7.6

※播種日:平成30年11月5日。

※平年(参考)はH24～30年産(H23～29年播)の7年間の平均値。

※播種量は8kg/10a条播(条間25cm、ドリル播)。

☆3月14日現在の「農林61号」と「ふくさやか」(農技センター作況調査)



「農林61号」



「ふくさやか」

2 県内の状況

- 今作麦は、平年より生育がかなり前進しており、六条大麦ではすでに一部で止め葉が出始めている。
- このため、草丈は平年より長いものの、茎数は早い時期から減少し始めていることから、平年より少なくなっている。

3 今後の管理

(1) 排水対策

- 排水不良は、根の伸長が不十分となって登熟期にまで影響が及び、収量および品質低下を引き起こすので、溝に水がたまっている場合は溝さらえを行うなど、**引き続き徹底した排水対策**を講じる。

(2) 六条大麦の止葉出葉期追肥(麦茶用途を除く)

- 六条大麦では、**止葉が出始めた頃(本年の農技センターでは3月20日頃)**に窒素成分で**2kg/10a程度**施用する。なお、例年は4月初旬までの施用としているが、**今作は高温により生育が進んでおり、3月中に施用**する必要がある。施用時期が遅れると硝子粒の発生が多くなるので注意する。
- 基肥一発体系の場合は止葉出葉期追肥を施用する必要はないが、**分施体系の場合は早急に施用**する。

(3) 小麦の実肥

- 小麦の実肥は、**開花期(出穂10日後頃)**に窒素成分で**3~4kg/10a**施用する。

(留意点)

- ① 3月中旬時点で生育は平年より1~2週間進んでおり、向こう1か月の気温も平年より高くなる確率が60%と予想されていることから、**出穂期は平年より早くなると見込まれる。**

- ② 3月中旬時点では**実肥施用適期は11月上旬播種「農林61号」で4月中旬と予測**しているが、播種時期や地域により生育に大きな差があるので、気象予報に注意を払いながら、麦の出穂、開花状況をよく見て対応する。
- ③実肥施用量は、**茎数が多いほ場（約300本/m²以上）では窒素成分で4kg/10aとし、それより少ないほ場では2～3kg/10aに減らす。**
- ④3月下旬～4月上旬に葉色が淡く茎数が少ない場合は、収量を向上させるために出穂7日前（走り穂が出る直前頃）に窒素成分で2kg/10a程度追肥し、さらに出穂10日後（開花期）に2～4kg/10aの実肥を施用する。

【参考】 平年(直近7年間)の出穂期（麦類作況調査：近江八幡市安土町大中11月5日播種）
「農林61号」：4月17日、「ふくさやか」：4月14日

（4）赤かび病防除

- 小麦および六条大麦では**開花始め～開花期**に、二条大麦では**穂揃い10日後頃**に農薬を散布する。
- 散布後降雨が続く場合は、1回目の散布1週間後頃に追加防除を行う。
(留意点)

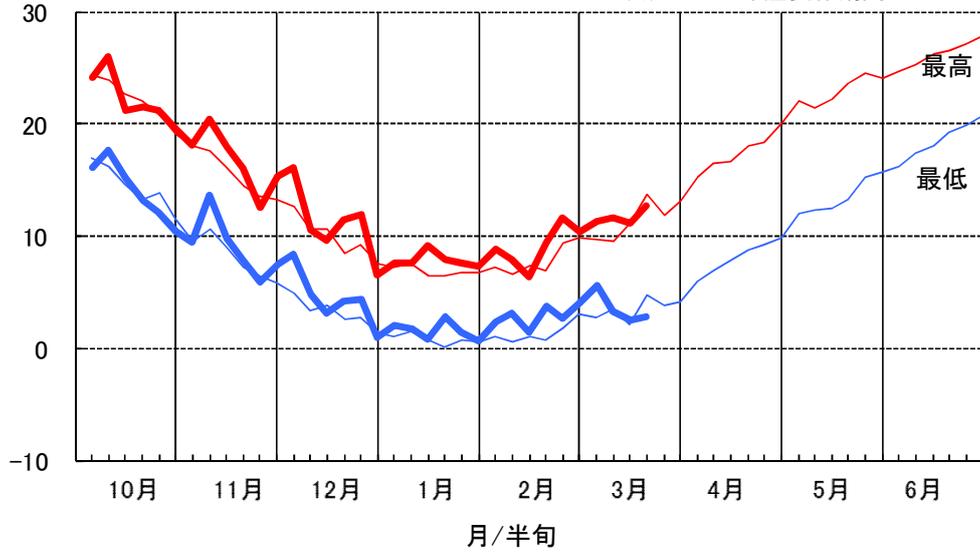
今作は生育が進んでいるため、**開花期は平年より早くなると予想**される。麦の出穂、開花状況や天候等に注意を払いながら適期防除に努める。なお、**小麦新品種「びわほなみ」は赤かび病に弱く、「農林61号」より開花時期が3～4日早いので、防除が遅れないよう注意**する。

【参考サイト】

農業技術振興センター	http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nogyo/
病虫害防除所	http://www.pref.shiga.lg.jp/g/byogaichu/
彦根地方気象台	http://www.jma-net.go.jp/hikone/
異常天候早期警戒情報	http://www.jma.go.jp/jp/soukei/

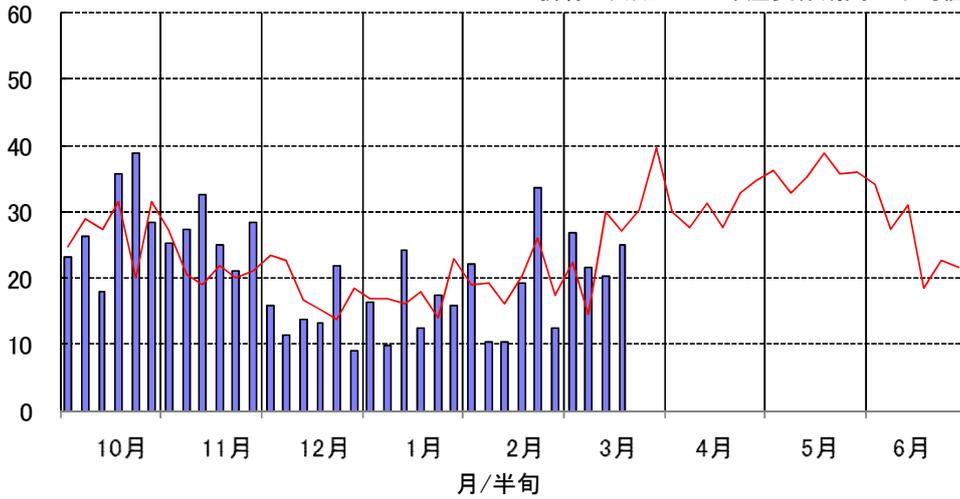
平成31年産(平成30年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

(°C) 【気温の推移(最高気温、最低気温)】 棒線: 本年(平成31年産) 折線: 平成21~30年産麦作期間の平均値



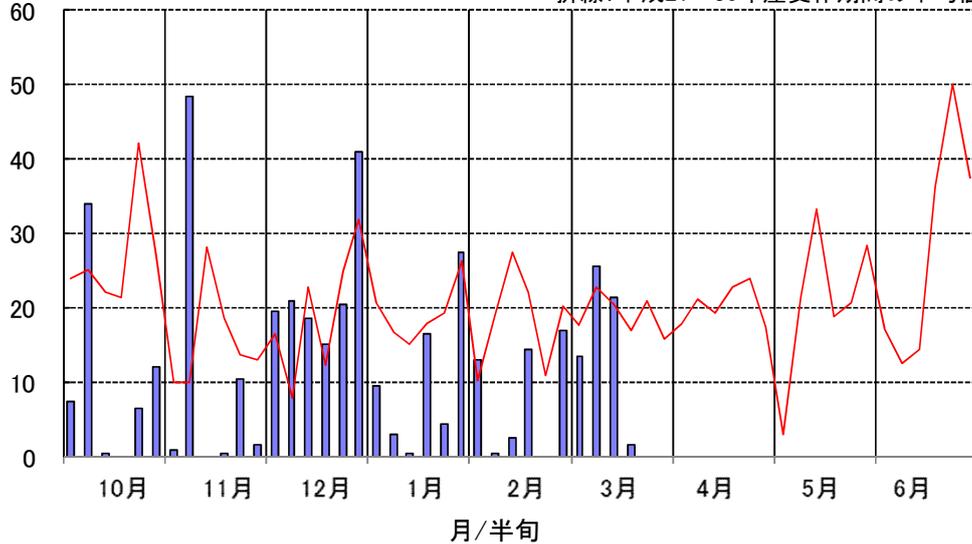
(hr) 【日照時間の推移】

棒線: 本年(平成31年産)
折線: 平成21~30年産麦作期間の平均値



(mm) 【降水量の推移】

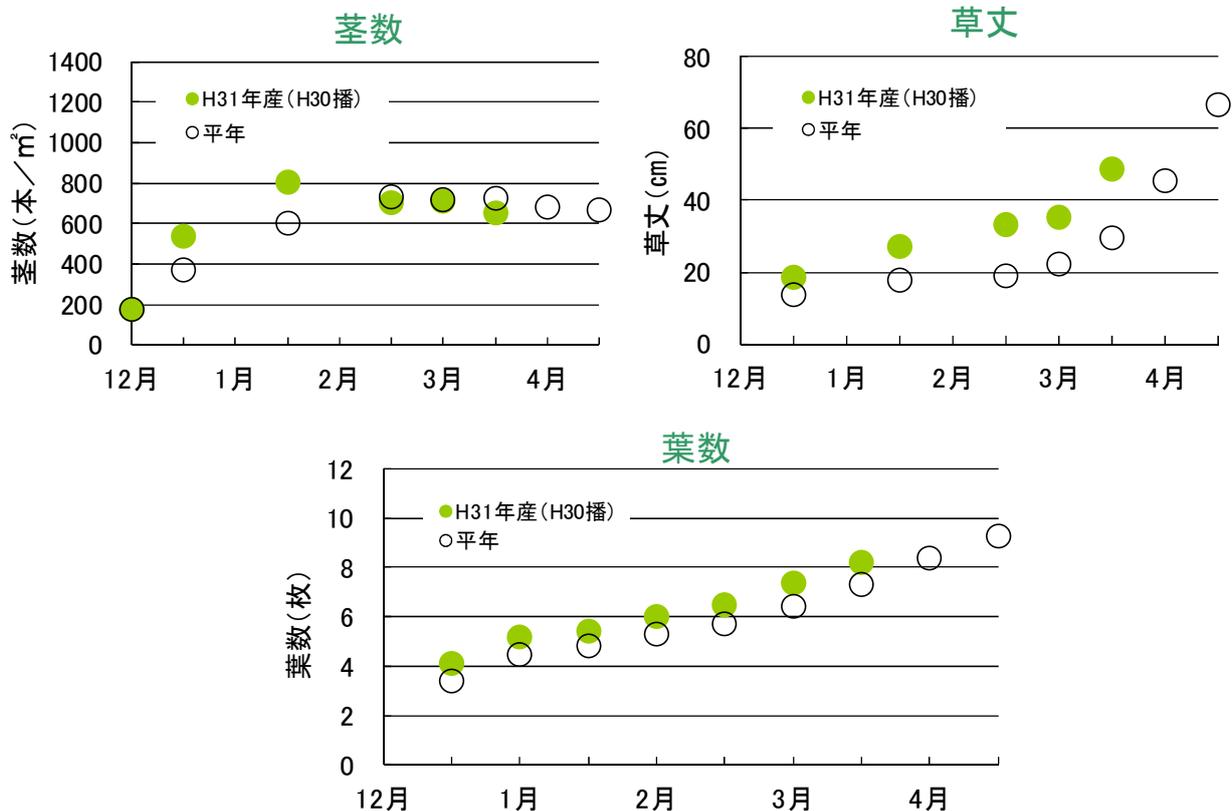
棒線: 本年(平成31年産)
折線: 平成21~30年産麦作期間の平均値



平成31年産生育調査結果（1）

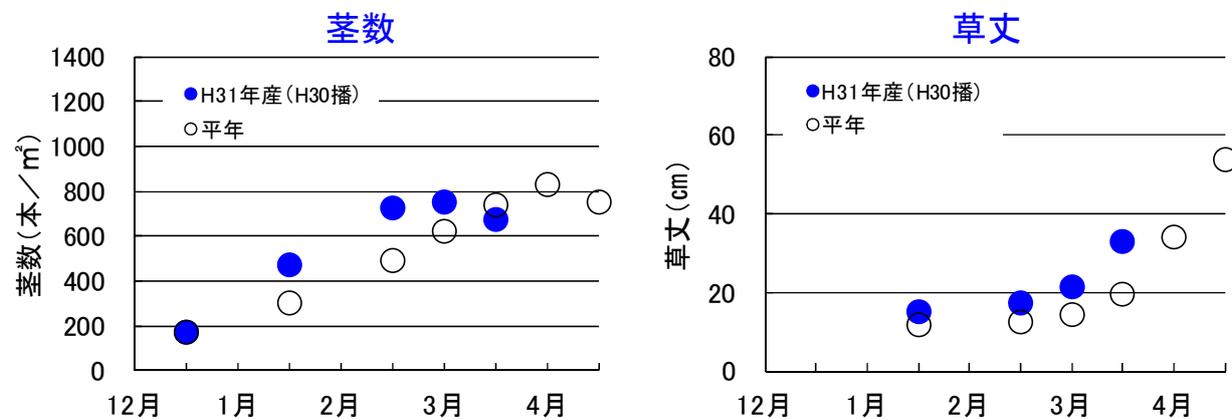
「農林61号」

平成30年11月5日播



(参考)

平成30年11月20日播

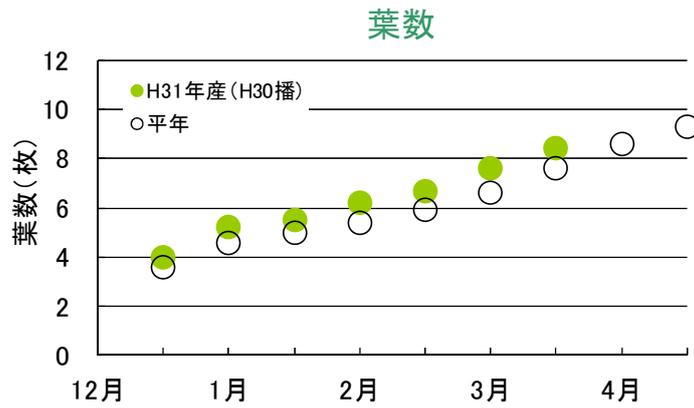
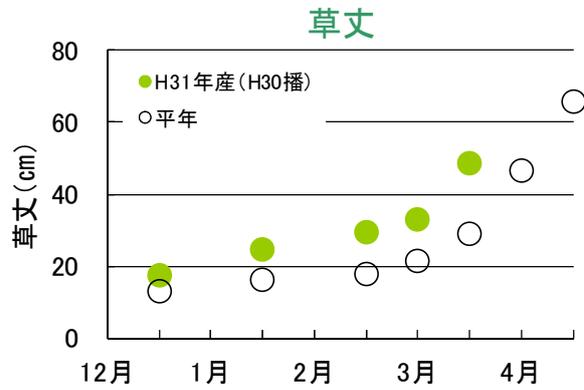
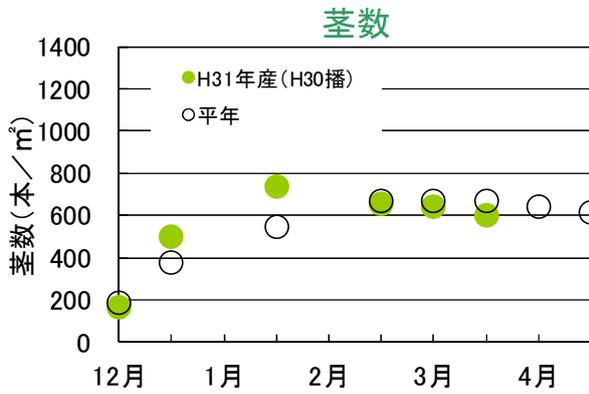


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～30年産(平成23～29年播)の7年間の平均値。

平成31年産生育調査結果（2）

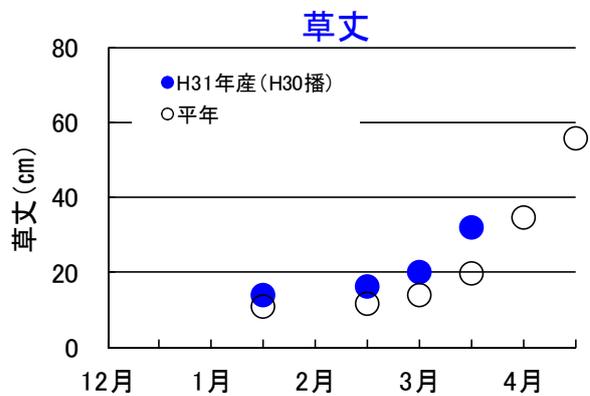
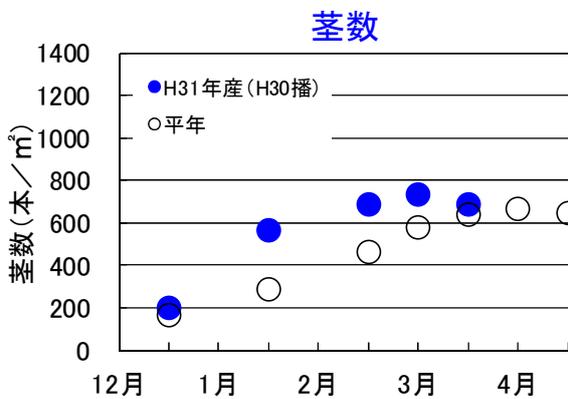
「ふくさやか」

平成30年11月5日播



(参考)

平成30年11月20日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～30年産(平成23～29年播)の7年間の平均値。